



世界トップクラスを目指す国際フォワード

2019年(平成31年)2月期 第2四半期 決算補足資料

2018年10月10日

株式会社エーアイテイー

東証第一部

【証券コード 9381】

目 次

● 業績概要 (2019年2月期 第2四半期決算概要)

・ 2019年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要	頁
業績ハイライト	4
事業項目別 営業収益(売上高)	5
事業項目別 売上総利益(粗利益)	6
販売費及び一般管理費 増減詳細	7
・ セグメントの概要	8
・ 2019年2月期 第2四半期連結業績予想比較	9
・ 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移(単体)	10

● 業績見通し (2019年2月期 通期見通し)

・ 2019年2月期 通期見通し	
連結業績	12
経営指標	13

業 績 概 要
(2019年2月期 第2四半期決算概要)



2019年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-1



■ 業績ハイライト

～ 前年同期比較 ～

(単位:百万円)

	2018年2月期 第2四半期累計期間		2019年2月期 第2四半期累計期間		前年同期比増減	
	金額	営業収益 比率	金額	営業収益 比率	金額	前年同期比
営業収益	11,931	100.0%	13,003	100.0%	+1,071	+9.0%
売上総利益	2,623	22.0%	2,743	21.1%	+119	+4.6%
(販売費及び 一般管理費)	(1,917)	(16.1%)	2,029	(15.6%)	(+112)	(+5.9%)
営業利益	706	5.9%	713	5.5%	+7	+1.0%
経常利益	764	6.4%	771	5.9%	+7	+0.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	516	4.3%	527	4.1%	+11	+2.2%

- 新規顧客の獲得と既存顧客との取引拡大に注力。大口顧客を中心に貨物の取扱いは増加し、営業収益、売上総利益共に前年同期を上回る結果となった。
- 前連結会計年度の下半期において、低下傾向にあった売上総利益率も、価格面の見直し等を進めたことで改善が見られた。(売上総利益率：前期 下半期 20.8%、当期 上半期 21.1%)
- 人件費を中心に販売費及び一般管理費は増加したが、営業収益拡大による利益の増加、売上総利益率の改善効果等から、営業利益以下の段階利益でも前年同期を上回る結果となった。



2019年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-2



■ 事業項目別 営業収益(売上高) 【前年同期比較】

(単位:百万円)

	2018年2月 第2四半期累計期間		2019年2月期 第2四半期累計期間		増減額	増減内訳額	増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	6,561	55.0%	7,052	54.2%	490	△54 為替の影響 +289 販売価格の上昇 +256 貨物量の増加
	航空輸送	347	2.9%	375	2.9%	27	△6 為替の影響 +44 販売価格の上昇 △10 貨物量の増加
	通 関	2,435	20.4%	2,496	19.2%	60	+60 受注件数は微減も 配送費等の単価上昇
	その他	573	4.8%	711	5.5%	138	+138 3PLなどの受注の増加
子会社 (注)	2,013	16.9%	2,366	18.2%	353	+141 子会社での為替要因 +212 子会社での収益増加	
合 計	11,931	100.0%	13,003	100.0%	1,071		

(注) 子会社にてセグメント情報における日本の「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を減算しております。

為替

1米ドル当たりの売上計上 平均為替レート
 2018年2月期第2四半期累計期間 112.45円
 2019年2月期第2四半期累計期間 110.34円 **【期中平均△2.11円】**
 この結果、海上輸送で△54百万円、航空輸送で△6百万円、
 合計で△60百万円の収益減。

通関受注件数の減少・配送費等の上昇

春節の影響で3月前半に受注は一時的に減少。一貫輸送の営業強化により、4月以降、受注件数は堅調に推移するも、3月単月の減少が響き、累計期間では前年同期を僅かに下回る受注件数となった。
 一方、配送費等の上昇もあり、収益は増加することとなった。
 受注件数: 2018年2月期 第2四半期累計 43,240件
 2019年2月期 第2四半期累計 43,131件
 (前年同期比 **△109件**)

販売価格の上昇・貨物量の増加

・海上輸送では、春節の影響から3月前半に一時的に貨物量は減少したが、新規顧客の獲得、大口顧客を中心とした既存顧客との取引拡大によって、前年同期を上回る取扱いとなった。
 加えて、価格面の見直し等によって、販売価格は上昇することとなった。
 輸送コンテナ本数 : 2018年2月期 第2四半期累計 102,234TEU
 2019年2月期 第2四半期累計 106,085TEU
 (前年同期比 **+3,851TEU**)

子会社

日本向け貨物の増加に伴って、現地の輸送に関する収益機会が増え、また、人民元高により円貨換算額も増したことで増収となった。



2019年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-3



■ 事業項目別 売上総利益(粗利益) 【前年同期比較】

(単位:百万円)

	2018年2月 第2四半期累計期間		2019年2月 第2四半期累計期間		増減額	増減内訳額	増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	1,091	41.6%	1,118	40.8%	27	△9 為替の影響
							+289 販売価格の上昇要因
							△293 仕入価格の上昇要因
							+41 貨物量の増加
航空輸送	75	2.9%	76	2.8%	0	△1 為替の影響	
						+44 販売価格の上昇要因	
						△41 仕入価格の上昇要因	
						△2 貨物量の減少	
通 関	697	26.6%	669	24.4%	△27	△27 受注件数の微減、 外注の増加	
そ の 他	63	2.4%	63	2.3%	0	+0 受注の増加	
子 会 社	696	26.5%	815	29.7%	119	+22 子会社での為替要因 +97 子会社での利益増加	
合 計	2,623	100.0%	2,743	100.0%	119		

為替

前年同期比1米ドル当たり2.11円の円高により、海上輸送で△9百万円、航空輸送で△1百万円、合計で△10百万円の減益。

通関受注件数の減少・外注の増加

通関受注件数の微減、及び通関業務の外注が増えたことにより、減益となった。

平均販売価格の上昇・仕入価格の上昇、及び貨物量の増加

価格面の見直し等も行い、平均販売価格は上昇。一方で仕入運賃も上昇し、価格面では僅かに減益となったが、それらを輸送コンテナ本数の増加で補う形となった。

子会社

営業収益同様に、日本向け貨物の増加が寄与したこと、また為替の要因も重なり、増益へと繋がった。



2019年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-4



■ 販売費及び一般管理費 増減詳細 (前年同期比較)

(単位:百万円)

	2018年2月期 第2四半期累計期間		2019年2月期 第2四半期累計期間		増減額
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	
営業収益	11,931	100.0%	13,003	100.0%	前年同期比 0.9pt低下 +1,071
売上総利益	2,623	22.0%	2,743	21.1%	+119
販売費及び一般管理費 合計	1,917	16.1%	2,029	15.6%	前年同期比 0.5pt低下 +112
(内 人件費)	1,462	12.3%	1,579	12.1%	+117
(内 販売費)	119	1.0%	114	0.9%	△4
(内 固定費)	336	2.8%	336	2.6%	前年同期比 0.4pt低下 0
営業利益	706	5.9%	713	5.5%	+7

販売費及び一般管理費の前年実績比増加の要因

■ 【人件費の増加要因】

2018年2月期	第2四半期末	在籍人員数	従業員	565名 (連結)
				臨時従業員	65名 (注)
				計	630名
2019年2月期	第2四半期末	在籍人員数	従業員	600名 (連結)
				臨時従業員	62名 (注)
				計	662名

【前年同期比 計+32名 (従業員 +35名 / 臨時従業員 +△3名)】

(注) 販売費及び一般管理費に含まれる臨時従業員数となります。

人件費の増加により販売費及一般管理費は増加したが、営業収益に対する比率は0.5pt低下したことで、営業利益の額は前年同期を上回った。

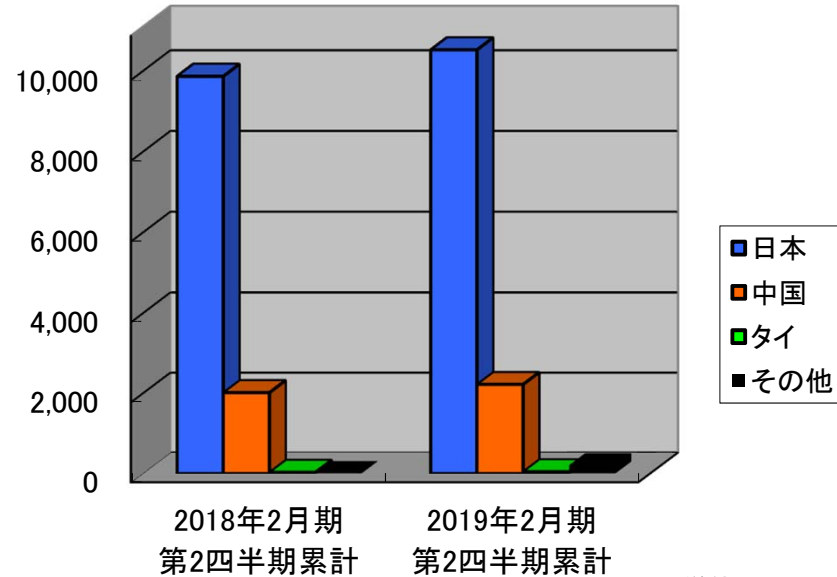


セグメントの概要



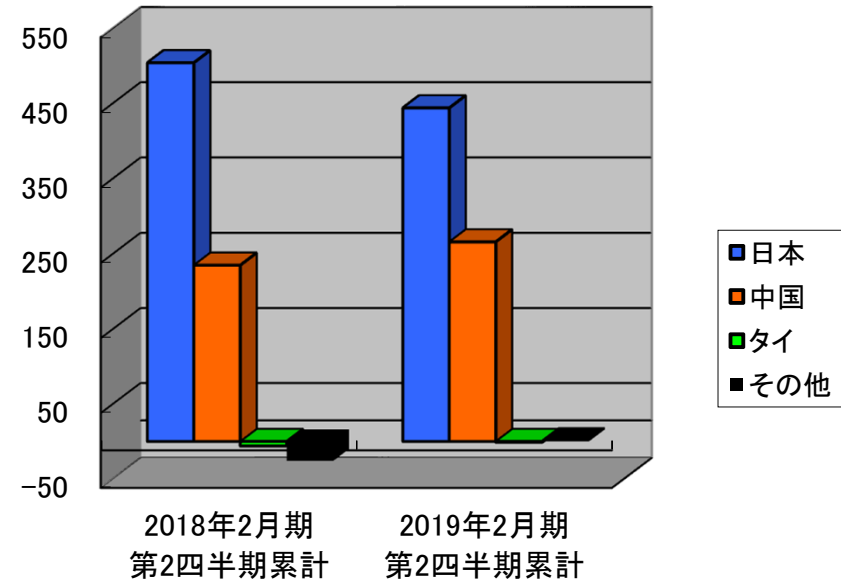
(営業収益)

(単位:百万円)



(営業利益)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2018年2月期 第2四半期累計	2019年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	9,873	10,528	+654
中国 (注2)	2,021	2,225	+203
タイ	27	42	+15
その他 (注3)	9	207	+198
合計	11,931	13,003	+1,071

	2018年2月期 第2四半期累計	2019年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	504	444	△59
中国 (注2)	235	266	+31
タイ	△6	△1	+5
その他 (注3)	△26	3	+30
合計	706	713	+7

- (注) 1. 「日本」、「中国」、「タイ」の3つを報告セグメントとしております。
 2. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人となります。
 3. 「その他」の区分は、米国、台湾及びベトナムの現地法人となります。



2019年2月期 第2四半期連結業績予想比較



■ 営業収益(売上高)及び損益関係

～ 業績予想比較 ～

(単位:百万円)

	2019年2月期 第2四半期累計				予想比 増減	
	業績予想値		実績		金額	予想比
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率		
営業収益	13,890	100.0%	13,003	100.0%	△886	△6.4%
売上総利益	2,879	20.7%	2,743	21.1%	△135	△4.7%
(販売費及び一般管理費)	2,149	(15.5%)	(2,029)	(15.6%)	(△119)	(△5.6%)
営業利益	730	5.3%	713	5.5%	△16	△2.2%
経常利益	770	5.5%	771	5.9%	+1	+0.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	540	3.9%	527	4.1%	△12	△2.3%

【主な増加・減少要因】

営業収益

期初想定よりも、△886百万円となった要因：

- ①輸送貨物量の未達 **△626百万円**
【海上△564百万円、航空△62百万円】
【海上貨物予想 114,800TEU → 106,085TEU 約△8,700TEU】
- ②通関関連 **△338百万円**
【通関件数予想 49,300件 → 43,131件 約△6,100件】
- ③為替要因 **+76百万円**
【1米ドル予想為替 107.00円 → 実績110.34円 +3.34円】
- ④価格要因【販売価格】 **+132百万円**
【海上+110百万円、航空+22百万円】
- ⑤その他要因(3PL事業等) **+54百万円**
- ⑥子会社要因で **△184百万円** **合計△886百万円**

売上総利益

期初想定よりも、△135百万円となった要因：

- ①輸送貨物量の未達 **△97百万円**
【海上輸送△85百万円、航空△12百万円】
- ②通関関連 **△60百万円**
- ③為替要因 **+27百万円**
- ④価格要因【販売価格と仕入価格の関係】
+54百万円【海上+52百万円、航空+2百万円】
- ⑤その他 **+0百万円**
- ⑥子会社要因 **△60百万円** **合計△135百万円**

販売費及び一般管理費

期初想定よりも、△119百万円になった主な要因：

人件費 **△87百万円**、販売費 **△13百万円**、固定費 **△18百万円**



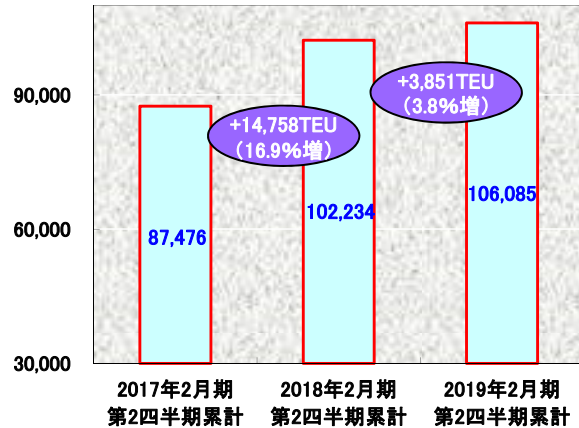
海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移(単体)



■ 当社取扱い海上輸送コンテナ本数推移

(TEU)

(単位:本数=TEU)

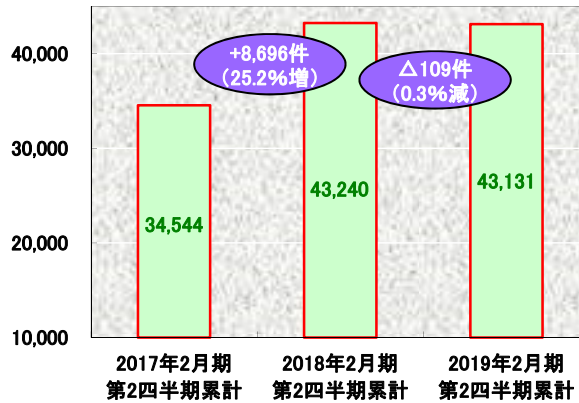


	2017年2月期 第2四半期累計			2018年2月期 第2四半期累計			2019年2月期 第2四半期累計		
	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比
輸入	83,820	+11,888	+16.5%	97,991	+14,171	+16.9%	99,856	+1,865	+1.9%
輸出	3,656	+241	+7.1%	4,243	+587	+16.1%	6,229	+1,986	+46.8%
合計	87,476	+12,129	+16.1%	102,234	+14,758	+16.9%	106,085	+3,851	+3.8%

■ 通関受注件数推移

(件)

(単位:件)



	2017年2月期 第2四半期累計			2018年2月期 第2四半期累計			2019年2月期 第2四半期累計		
	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比
輸入	32,324	+6,225	+23.9%	39,976	+7,652	+23.7%	39,357	△619	△1.5%
輸出	2,220	+144	+6.9%	3,264	+1,044	+47.0%	3,774	+510	+15.6%
合計	34,544	+6,369	+22.6%	43,240	+8,696	+25.2%	43,131	△109	△0.3%

業 績 見 通 し
(2019年2月期 通期見通し)



2019年2月期 通期見通し—業績



■ 連結業績

(単位:百万円)

		2018年2月期 (実績)	営業収益比	2019年2月期 (実績・予想)	営業収益比	増減金額	前年同期比
上期	営業収益	11,931	100.0%	13,003	100.0%	+1,071	+9.0%
	営業利益	706	5.9%	713	5.5%	+7	+1.0%
	経常利益	764	6.4%	771	5.9%	+7	+0.9%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	516	4.3%	527	4.1%	+11	+2.2%
通期	営業収益	25,114	100.0%	28,500	100.0%	+3,385	+13.5%
	営業利益	1,497	6.0%	1,550	5.4%	+52	+3.5%
	経常利益	1,587	6.3%	1,610	5.6%	+22	+1.4%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,100	4.4%	1,150	4.0%	+49	+4.5%

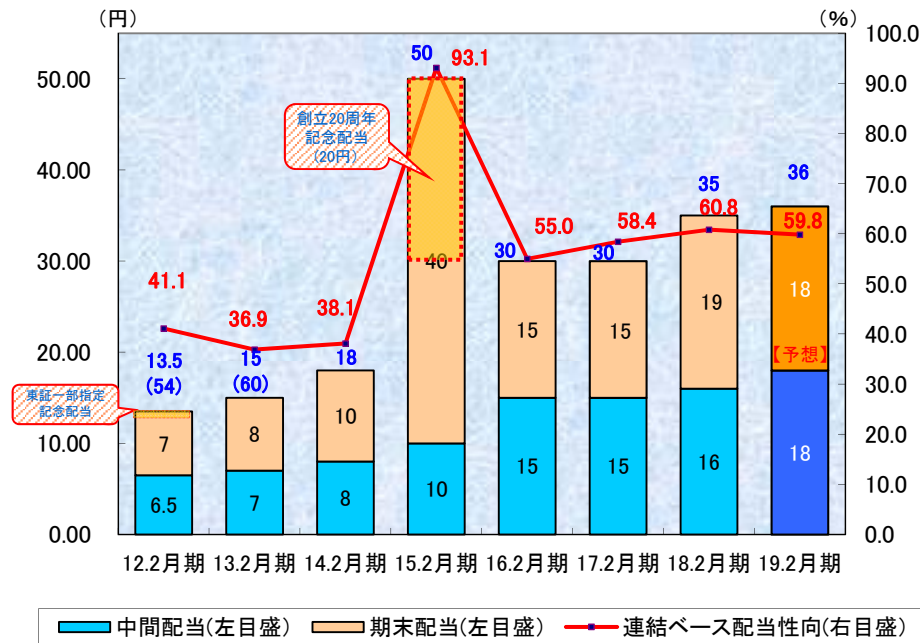
■ 上半期での業績の進捗を勘案し、現時点において、通期の業績予想は、営業収益及び各段階利益それぞれで当初の予想から修正なし。



2019年2月期 通期見通し—経営指標



■ 1株当たり年間配当金、及び連結ベース配当性向 (注1)



■ 連結ベース 1株当たり当期純利益 (注2)



- (注) 1. 2013年3月1日付、2013年11月1日付にてそれぞれ1株につき2株の割合をもって株式分割をおこなっています。よって、2014年2月期以前の1株当たりの配当金は、それぞれの株式分割を過年度に遡及して表示しており、株式分割前の年間実配当額は、()に明記しております。
2. 2014年2月期以前の1株当たり当期純利益においても、(注)1の株式分割を過年度に遡及して表示しており、株式分割前の実額は、()に明記しております。

【2019年2月期】

- 中間配当.....期初の予想通り、1株当たり18円で実施。
- 期末配当予想...1株当たり18円の予想。
(年間配当予想: 1株当たり36円)



【お問合せ先】 経理財務部 財務企画課
TEL:06-6260-3486 FAX:06-6260-3460

執行役員 経理財務部長 内田 利明
経理財務部 財務企画課長 中川 善郎

――本資料取扱い上の注意――

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確実性の要素を含んでおります。従いまして、通常予測し得ないような特別事情の発生や通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

よって投資家の皆様につきましては、本資料の将来見通しのみには依拠することなく、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。

なお、本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。